



●参加のお願い！回転混色の集い

昨年6月の日本色彩学会全国大会でのワークショップ「色独楽で遊ぶ・回転混色の研究史と新たな色彩教育の可能性」の拡大版を、**2月4日**に日本橋 DIC. にて開催いたします。

6月と同様、ドレスデン工科大学「色彩論コレクション」創設者エクハルト・ベンディンによる2010年の教材『色彩論のための回転盤』を最大お二人で1セットお使いいただきながら体験していただくと同時に、北畠耀名誉顧問自作の回転装置を駆使して「主観色」の不思議に取り組んでいただきます。

加えて新たに、**錯視研究・制作の第一人者の立命館大学・北岡明佳先生**に、主観色現象のメカニズムと研究史を、詳細な資料をお配りして、詳しくお話しいただきます。

お土産は、永田泰弘名誉顧問作の回転盤図案データ200点超のダウンロードキーです。

開催は関東支部との共催、学会員の参加費は2,000円です。申込は**1月30日(火)**まで。対面参加数は**30名**、席数の都合上、申込と、支払いを共に完了された方が定員に達し次第締切り。オンライン参加は無制限。

お申込みの方は、**日本色彩学会のホームページ**、または**学会メールニュース469**から、**申込と入金をお願いします。** (山根千明)

●歴博色尽くし無料観覧券プレゼント

国立歴史民俗博物館で行われる企画展「歴博色尽くし」に合わせ、日本色彩学会の会員向けに無料観覧券をプレゼントする企画を関東支部が実施します。観覧券発送：2月下旬。

申込順に先着で合計30組に、1組につき2枚の観覧券をペアで下記のフォームから、ご招待いたします。

<https://forms.gle/AQ6d3xFZMuUYBDDs8>[https:](https://forms.gle/AQ6d3xFZMuUYBDDs8)

応募資格は、正会員または学生会員です。

◆応募開始は2024年1月25日(木)から。

◆開催期間：3月12日(火)～5月6日

◆会場：国立歴史民俗博物館 企画展示室A
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117

◆開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)月曜休館、※4月29日(月・祝)と5月6日(月・休)は開館。

◆後援：一般社団法人 日本色彩学会

本プロジェクト代表：鈴木卓治学会員。

本企画展示は、「色」をテーマとした館蔵資料展として企画し、「色」を赤、黄、青…など「いろ」にとどまらず、質感や微細な構造がもす「つや」、それらの組み合わせがつくる「かたち」までを含めて考えることとしました。

直ぐに申込んでください。 (日高杏子)

●大辞泉ひろいよみ 53 一き

金側：きんがわ。外回りを金で作ったもの。

銀側：ぎんがわ。外回りを銀で作ったもの。

金冠：きんかん。黄金製のかんむり。また、黄金で飾ったかんむり。虫歯を治療したあと、歯にかぶせる金製の覆い。こんかん。

金柑：きんかん。ミカン科の常緑低木。

金管：きんかん。金管楽器の略。

金環：きんかん。金製の輪。金色の輪。

近眼：きんがん。「近視」に同じ。

銀漢：ぎんかん。天の川。銀河。天漢。

銀環：ぎんかん。銀製の輪。銀色の輪。古墳時代、耳飾りに用いた切れ目のある銀色の輪。

金器：きんき。黄金製の器物。金属製の器物。

金着せ：きんきせ。金属器の表面に薄くのばした金をかぶせたり金めっきを施したりすること。また、その器物。

銀着せ：ぎんきせ。金属器の表面に薄くのばした銀をかぶせたり銀めっきを施したりすること。また、その器物。

金紅石：酸化チタンからなる鉱物。赤・青・紫・黒・褐色などで、普通は柱状結晶。正方晶系。火成岩や変成岩に含まれる。

金拵え：きんごしらえ。金で作ったり飾ったりすること。また、そのもの。特に刀剣の飾り金具についていう。こがねづくり。(永田)